

# 若い力の協力と好天候に恵まれて 竜丘市民運動会



この日の為に何度も練習を重ねてきた各分館の応援合戦、地区民のみなさんの熱い声援が今年も会場中に響き渡ります。素敵なカツ

午前六時四十分、今年は長野原分館の金山神社で採火式が行われ、聖火リレーがスタートしました。元気な小学生達が沿道の温かい声援を受けながら聖火を引き継ぎ、開会式に合わせて聖火が会場到着しました。趣向を凝らした聖火台に火を放つと豪華な花火の音と共に見事に点火され、気持ちのこもった力強い選手宣誓で競技が開始されました。午前中はメドレーリレーが今年も分館対抗競技のトップバッターです。



十月七日、澄みきつた空のもと竜丘地区市民運動会が盛大に開催されました。練習の成果を発揮しようと華やかな応援の後押しを受け、熱戦が繰り広げられました。



発行所  
飯田市竜丘公民館  
編集人  
竜丘公民館広報委員会  
印刷所  
龍共印刷株式会社  
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 7,072人  
男子 3,439人  
女子 3,633人  
世帯数 2,442戸  
(24年10月末現在)

いきました。運動会では欠かせない競技の一つだと思えます。何年ぶりでしょうか。今年は綱引きが復活しました。白熱する力勝負に応援合戦にも力が入ります。午前中の分館対抗最後の種目であるオールスターリレーでは、強脚自慢たちが結集し、午前中を締めくくるのにふさわしい競技となりました。



力強く感動的な選手宣誓

昨年の反省を反映し、大幅にルールを変更しました。採点種目の中で最も練習の成果が出やすく、又各分館の戦略が得点に結びついた競技ではなかったでしょうか。「ちょっとかしてな」は、今年も制服姿の駐在さんの活躍が印象的でした。

運動会のとりをとるのはやっぱり「年次むかで」。竜丘の運動会名物種目で、声援もピークに達し、運動会を締めくくりました。優勝したのは時又分館でした。最後になりましたが、運動会を開催するにあたり多くの地域のみなさん、そして中学生も昨年以上に協力していただき、一日の運動会で日頃の運動不足が解消する訳ではありませんが、体を動かすきっかけ作り、そして何より地域のみなさんの親睦としてお互いが居心地良く住み続けることのできる地域作りがこの運動会が貢献できる事を期待し、また来年も開催したいと思えます。

活躍が印象的でした。運動会のとりをとるのはやっぱり「年次むかで」。竜丘の運動会名物種目で、声援もピークに達し、運動会を締めくくりました。優勝したのは時又分館でした。最後になりましたが、運動会を開催するにあたり多くの地域のみなさん、そして中学生も昨年以上に協力していただき、一日の運動会で日頃の運動不足が解消する訳ではありませんが、体を動かすきっかけ作り、そして何より地域のみなさんの親睦としてお互いが居心地良く住み続けることのできる地域作りがこの運動会が貢献できる事を期待し、また来年も開催したいと思えます。



市民セミナーと古墳を考える会

歴史を紐解くことで見えてくるルーツがある。大切にしたいものである。

活躍が印象的でした。運動会のとりをとるのはやっぱり「年次むかで」。竜丘の運動会名物種目で、声援もピークに達し、運動会を締めくくりました。優勝したのは時又分館でした。最後になりましたが、運動会を開催するにあたり多くの地域のみなさん、そして中学生も昨年以上に協力していただき、一日の運動会で日頃の運動不足が解消する訳ではありませんが、体を動かすきっかけ作り、そして何より地域のみなさんの親睦としてお互いが居心地良く住み続けることのできる地域作りがこの運動会が貢献できる事を期待し、また来年も開催したいと思えます。

活躍が印象的でした。運動会のとりをとるのはやっぱり「年次むかで」。竜丘の運動会名物種目で、声援もピークに達し、運動会を締めくくりました。優勝したのは時又分館でした。最後になりましたが、運動会を開催するにあたり多くの地域のみなさん、そして中学生も昨年以上に協力していただき、一日の運動会で日頃の運動不足が解消する訳ではありませんが、体を動かすきっかけ作り、そして何より地域のみなさんの親睦としてお互いが居心地良く住み続けることのできる地域作りがこの運動会が貢献できる事を期待し、また来年も開催したいと思えます。

歴史を紐解くことで見えてくるルーツがある。大切にしたいものである。

歴史を紐解くことで見えてくるルーツがある。大切にしたいものである。

歴史を紐解くことで見えてくるルーツがある。大切にしたいものである。

「町村行政が村を守る父親とすれば、公民館の運営が村を育てる慈母であること」を折って祝辞とする。「(竜丘公民館第一号より)これは、竜丘公民館開館式で当時の村長が述べられた言葉です。

また、公民館の創設準備会の記録には「基本方針」として①あくまでも民主主義的機関であつて、下からの盛り上げる力に立脚すること。②行事を主とせず、村の将来を培う原動力と成ることと記録されています。今日の公民館が竜丘を育てる慈母となつていくか、将来を培う原動力となつていくか、発足当時の公民館に対するおもいが実現されるか、

第一講 竜丘の文化的土壌と公民館 先輩たちの活動から学ぶ

第二講 住民自治と公民館 歴史を再認識しこれから公民館を考える

第三講 地域と公民館 地域自治への憧憬 木下陸奥著から学ぶ竜丘の文化的土壌と公民館

「町村行政が村を守る父親とすれば、公民館の運営が村を育てる慈母であること」を折って祝辞とする。「(竜丘公民館第一号より)これは、竜丘公民館開館式で当時の村長が述べられた言葉です。

また、公民館の創設準備会の記録には「基本方針」として①あくまでも民主主義的機関であつて、下からの盛り上げる力に立脚すること。②行事を主とせず、村の将来を培う原動力と成ることと記録されています。今日の公民館が竜丘を育てる慈母となつていくか、将来を培う原動力となつていくか、発足当時の公民館に対するおもいが実現されるか、

第一講 竜丘の文化的土壌と公民館 先輩たちの活動から学ぶ

第二講 住民自治と公民館 歴史を再認識しこれから公民館を考える

「町村行政が村を守る父親とすれば、公民館の運営が村を育てる慈母であること」を折って祝辞とする。「(竜丘公民館第一号より)これは、竜丘公民館開館式で当時の村長が述べられた言葉です。

また、公民館の創設準備会の記録には「基本方針」として①あくまでも民主主義的機関であつて、下からの盛り上げる力に立脚すること。②行事を主とせず、村の将来を培う原動力と成ることと記録されています。今日の公民館が竜丘を育てる慈母となつていくか、将来を培う原動力となつていくか、発足当時の公民館に対するおもいが実現されるか、

第一講 竜丘の文化的土壌と公民館 先輩たちの活動から学ぶ

第二講 住民自治と公民館 歴史を再認識しこれから公民館を考える

## 竜丘の文化的土壌と公民館 市民大学二講座

前公民館長の木下陸奥さんには講座の冒頭に「受け継がれる文化の気風」と題し、大正期の小学校での自由教育、青年団の活動、お寺やキリスト教会での日曜学校等の竜丘地区の様々な活動が一つとなり文化的土壌を育ててきたこと、そしてそのことが戦後発足した公民館が活発に活動できた元となつていくこと、その文化の気風が先輩たちによって引き継がれてきたことを講義いただきました。竜丘の先輩たちの「自由」の尊重を、私たち後輩に送ってきた実践こそ、地域の中で大事にしていくよう努力して行く必要があります。

また講座の最後に木下さんより、「これからの公民館の方向性」について講義があり、住民自治とは何か、私たちの行っている活動が大正期から公民館発足以降、引き継がれてきた文化村竜丘の気風を守っているか考えさせられました。私たちが行っている活動の一つ一つを見つめ直す良い機会となりました。地域自治組織の中で公民館の役割を再認識し、これからの活動に活かしていく必要があります。

師走に入り市田柿の出荷が本番を迎えた。秋には柿色の見事なすがすがしさが、農家の庭先を占めるのも風物詩である。この地域の干し柿の歴史は古く、五百年以上も前から「立石柿」として江戸にも流通していた。三穂の立石寺には江戸の柿問屋が奉納した絵馬が残っている。当時は、年貢として米の代わりにも納められていた記録もある。

干し柿は、全国に数多いが、市田柿の食感を持つ干し柿は少ない。干し柿づくりには、温度と湿度のバランスを保ちながら干し上げていく繊細な技術がある。それと、天竜川の川霧が、日中乾いた干し柿の表面に適度な加湿をもたらし、果肉が均一に干し上がると言うことらしい。まさに、風土が育んだ食品である。

ある建築家が、昔はどの家にも柿の木があり軒下に柿を吊っていた。最近の住宅は軒や庇が少なく、柿を吊すことができない。柿の木も切られてしまつて話していた。

大量生産・大量流通は、価格メリットはあるが、画一化が進むと、日本全国どここのまちな風景、同じ食文化になってしまう。文化祭で時又分館が、嶋地区の歴史について展示をした。嶋が歴史に現れるのは、諏訪大社に、天正六年(一五七八)当時の島地区が御柱のために寄進をした記録と古い。江戸時代には新田が切り開かれ、養蚕景気と飯田線開通で賑わった歴史がある。しかし、盛土事業後、嶋の地名の出現に戸惑った世代もいる。

歴史を紐解くことで見えてくるルーツがある。大切にしたいものである。

# 地元文化は地元で守り育てていく

## — 竜丘地区文化祭開催 —

去る十一月十日、十一日に平成二十四年度の竜丘地区文化祭が行われました。展示はもちろん、楽しい催しも盛りだくさんでした。

当日は、開会セレモニーから文化祭が幕を開けました。

各分館の展示では、各々の分館の個性が創意工夫されて展示されていました。又、昨年度より展示についての発表が、二日間行われました。一分館五分の持ち時間でしたが、熱が入った説明で、時間を超えてしまふ分館もありました。しかし、展示の内容・ねらいが、展示の企画でした。図書館のおたのしみ会では、「手あそび」「絵本の読み聞かせ」「紙しばい」「人形劇」「エプロンシアター」を、各分館の図書館役員のみなさんが行いました。四十名ほどの親子連れが楽しみました。二日間行われた折り紙は、



水引アクセサリ作りに夢中

### ふれあいサロン 時又ゆつくりストレッチ

時又地区内の高齢者を対象に、ストレッチ体操をしたり、会話をしたりお互いにコミュニケーションを図ることを目的に行っています。

今年、今年目を迎え会員は現在三十六名です。講師は長野原の齊藤先生で毎月、第一水曜日と第三水曜日の十時から一時間半程行っています。第三水曜日はストレッチ体操をみっちり行います。他人とは競争せず、マイペースで無理せずに行



うのがコツです。帰るときは皆さんの表情は、気分よくイキイキとして、二、三歳若返ったように見えます。

(代表 中村艶子)

来年の干支を中心に行われました。又、二日目に行われた水引アクセサリでは、多くの親子連れがアクセサリ作りを楽しみました。二日間の文化祭で図書館はいつも大盛況でした。

特別企画展では、竜丘児童自由画百年特別展として、竜丘が全国に誇る宝、大正期の竜丘児童自由画をパネルにし、展示されました。又、特別講演会では北原更一氏を講師に、「自由画百年記念展、感謝／児童自由画の保存と顕彰への試み」と題した講演に、四十名ほどの参加がありました。三十年前、小学校の土蔵の中の長もちの中にあった物が、自由画である事がわかった事、その時の保管が大変にまつであつた事、保存に向けて寄附をつとめた事などを話されました。保存にこまる事は、保存場所や保存状態にある事です。保存を行政に依頼しようと

しても、文化財には生産性が無い為、行政では重荷になつてしまつた。この様な話を、来年度成人式の実行委員五人も一緒に開けた事は、大変に興味深いものです。パトカー乗車体験では、実物の



各分館の展示の一部

### 秋のごみゼロ運動

環境委員会

去る十一月四日ごみゼロ運動にご参加頂き、大変にありがとうございました。秋の実施結果ですが、竜

丘全体の参加人数大人一、二一人、子供九三人、集められた空き缶七九二個、空き瓶一七六本、ペットボトル三三三本、埋立ごみ八二袋、可燃ごみ二五袋の総数一〇七袋でした。竜丘地区は子供さんの参加が多くうれしく思います。家族ぐるみで参加頂きわたしたちの街をきれいにしましょう。ごみゼロ運動当日に合わせ竜丘クリーン運動を環境委員で実施しました。今年の春のクリーン運動は地区ごと行いましたが、この秋には、猿橋周辺を委員七十名が参加して実施しました。道路や土手のごみ拾い、橋から上流の溜まりに渦巻いているペットボトル、発泡スチロールを拾い集めました。また、道路脇の草刈りと橋の上に溜まった土の除去、桐林側の見通しを悪くしている木の伐採などを行いました。大変にきれいになりました。道路周辺がきれいになり、環境を整えることにより、家庭ごみ投棄やポイ捨てが無くなるように期待したいところ



### 結婚相談員 ご存知ですか？

飯田市では、飯田市社会福祉協議会が「結婚相談員」の制度を設けて、結婚を希望される方のご相談に当たっています。この竜丘地区では長野原の前澤道子さんが竜丘地域づくり委員会の推薦で、飯田市結婚相談員として今年度から活躍されています。

少子高齢化が全国的に叫ばれる中、飯田市も例外ではなく、少子高齢化が進んでいます。飯田市内でも婚活イベントや街コンが盛んに行われています。我々も少子高齢化のこの時代に、何をしなければいけないか考えていく必要があります。

### 平成二十四年度 長野県公民館活動フォトコンテスト

平成二十四年度長野県公民館活動フォトコンテスト（長野県公民館運営協議会主催）において、文化委員高橋伸幸さん（桐林）の作品「第五回竜丘古墳まつり 鈴丘太鼓」が見事、最優秀賞に輝きました。先日行われた、長野県公民館大会で表彰され、社会教育実践集「信州の自然に生き」そして学ぶ12」の表紙を飾りました。

